

江上小学校・青木小学校・  
城島小学校統合基本計画  
【案】

令和7年11月  
久留米市教育委員会

## 目 次

### 本 編

はじめに	1
1 統合基本計画決定までの手順	2
2 統合の対象校及び統合の組み合わせ	3
3 統合の方式、学校名称及び位置	4
4 統合の進め方	5
5 統合の実施時期及び統合に向けた取組項目	6
6 城島エリアにおける新しい学校教育に向けた検討	7

### 資料編

1 青木小・江上小・城島小学校の児童数・学級数の推移	1
2 児童数・学級数の推計	3

# 本 編

## はじめに

久留米市教育委員会では、小規模化が進む市立小学校の課題等に対応するため、基本的な考え方や対応等を取りまとめた「久留米市立小学校小規模化対応方針」を平成30年10月に策定しました。

対応方針では「子どもたちの教育を充実する観点からは、全学年でのクラス替えや学習活動の内容に応じて学級を超えた集団を編成することが可能となり、かつ同学年に複数の教職員を配置できる1学年が複数の学級で構成されていることが望ましい」とし、小規模化対応の基本方策を「学校の統合」としています。

さらに、急激な少子化と学校施設の老朽化が全市的に進行していることから、令和5年2月に対応方針を改定しました。

その中では、小規模化対応を全市的に検討する優先順位として、児童数推計の観点から「既に複式学級が発生している学校」「今後、複式学級の発生が見込まれる学校」「望ましい学校規模を下回る学校」を掲げるとともに、学校施設の老朽化の観点から「老朽化により施設の更新が必要な小規模校については、優先的な対応の検討を行う」としたところです。

本市では、対応方針に基づき、令和3年4月には本市で初めてとなる下田小・浮島小・城島小学校の統合を実施しました。また、令和7年4月に青峰小・高良内小学校が統合し、令和8年4月には、大橋小・善導寺小学校の統合を実施します。これらの統合により、順次、望ましい学校規模を実現しているところです。

全国の出生数は、減少が続いているおり、令和6年は68万6061人と初めて70万人を割り込み、過去最低を更新しました。これは過去最多の昭和24年の約4分の1になっています。

本市の出生数も、令和6年度は、初めて2000人を下回る1999人となり、合併以降で最多となった平成18年度の約3分の2以下となっています。

このような急速な少子化は、子どもの減少だけでなく、教員不足にもつながるものであり、人口減少にしっかりと向き合い、人口減少の中でも持続的でより良いい教育環境を構築する必要があります。

このような中、江上小学校・青木小学校・城島小学校統合基本計画【案】は、複式学級の編制基準に該当する青木小学校と、複式学級の可能性がある小規模校の江上小学校及び小規模校となることが見込まれる城島小学校を対象とした統合を進めるため、市教育委員会において、統合の組み合わせ・統合までの手順・統合の実施時期等の基本的な事項について定めるものです。

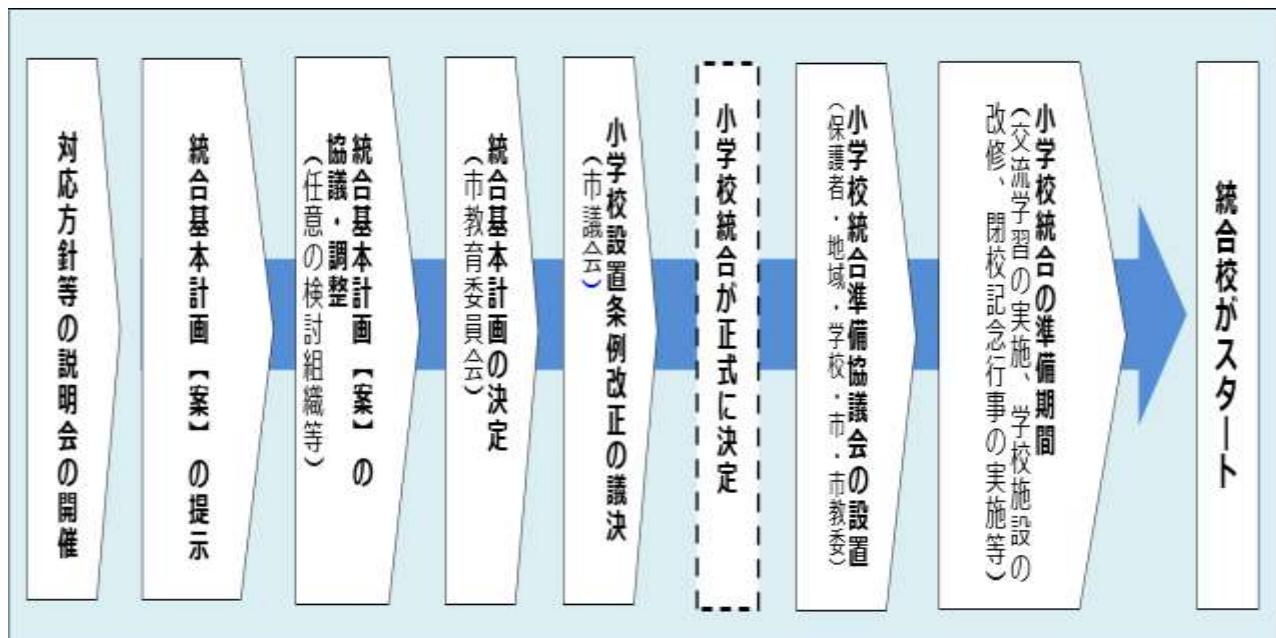
### (1) 計画の位置付け

統合基本計画案の内容は、現段階における市教育委員会の原案です。市教育委員会では、原案に基づいて、統合の対象となる小学校の保護者や地域住民の方々等との丁寧な協議調整等を経たうえで、教育委員会議に諮る議案として決定します。

### (2) 計画決定までの手順

- ① 統合基本計画案の内容等について、保護者や地域住民の方々等との丁寧な協議調整を実施  
▽
- ② 保護者や地域住民の組織等において、統合基本計画案及び統合準備協議会への委員の推薦等について了承  
▽
- ③ 江上小学校・青木小学校・城島小学校統合基本計画を教育委員会議において議決し、正式に決定

### [参考] 統合実施までの流れ



**(1) 統合の対象校**

久留米市立小学校小規模化対応方針に基づき、望ましい学校規模を確保するため、複式学級が編制される見込みの小学校及び今後の推計で小規模校が継続する又は小規模校となる見込みの小学校として、次の小学校を統合の対象校とします。

統合の対象校	今後の状況
青木小学校	令和 7 年度以降、複式学級編制となる見込み
江上小学校	今後も小規模校となる見込み
城島小学校	令和 10 年度以降、小規模校となる見込み

**(2) 統合の組み合わせ**

よりよい教育条件・教育環境を整える観点から、全学年でクラス替えができる望ましい学校規模が確保される組み合わせを基本とします。そのため、江上小・青木小・城島小学校の組み合わせで統合します。

**3****統合の方式、学校名称及び位置**

よりよい教育条件・教育環境を速やかに整えるため、統合の方式は、江上小学校と青木小学校を城島小学校に編入する方式とします。

また、学校規模・学校施設の状況等を総合的に判断して、現在の城島小学校の校舎を使用します。したがって、統合後の学校名称は城島小学校、学校位置は現在の城島小学校とします。

統合の方式	統合後の学校	
	名称	位置
編入統合	城島小学校	久留米市城島町城島 320 番地

円滑な統合に向けて、具体的に調整すべき事項や必要な準備等の検討については、本計画決定後、学校・保護者・地域住民の方々等で構成する統合準備協議会を設置して協議調整を行うとともに、その状況については、統合準備協議会ニュース等を発行して適宜広報していきます。

### 統合の進め方

学校・保護者・地域住民の方々等で構成する統合準備協議会を設置して協議調整を行う。

## 統合準備協議会のイメージ

### 江上・青木・城島小学校統合準備協議会

**【委員の構成】** 各小学校保護者（5名程度） 各地域（3名程度）

各校長 市教育委員会 久留米市

\* 保護者・地域は、推薦に基づき市教委が委嘱

**【開催頻度】** 月1回程度の定期的な開催 \* 必要に応じて複数回開催

**【主な協議事項】** 保護者部会等で協議した事項の承認、情報共有など

### 江上小保護者部会

**【委員の構成】**

保護者（人数や選出方法などは任意）

**【事務局】** 学校長 市教育委員会

\* 必要に応じて市の関係部局も出席

### 青木小保護者部会

**【委員の構成】**

保護者（人数や選出方法などは任意）

**【事務局】** 学校長 市教育委員会

\* 必要に応じて市の関係部局も出席

### 城島小保護者部会

**【委員の構成】**

保護者（人数や選出方法などは任意）

**【事務局】** 学校長 市教育委員会

\* 必要に応じて市の関係部局も出席

**【開催頻度】**

月1回程度の定期的な開催

\* 必要に応じて複数回開催

**【主な協議事項】**

学校に関する事項

（交流授業、通学支援、PTA活動など）

**【開催頻度】**

月1回程度の定期的な開催

\* 必要に応じて複数回開催

**【主な協議事項】**

学校に関する事項

（交流授業、通学支援、PTA活動など）

**【開催頻度】**

月1回程度の定期的な開催

\* 必要に応じて複数回開催

**【主な協議事項】**

学校に関する事項

（交流授業、通学支援、PTA活動など）

### (1) 統合の実施時期

青木小学校・江上小学校・城島小学校の統合時期は、次のとおりとします。

統合の実施時期
令和9年4月1日

#### 具体的な手順やスケジュール【予定】

##### 【令和7年12月まで】

- ◆ 保護者や地域の皆様との協議を経て、統合準備協議会への委員推薦等

##### 【令和7年12月】

- ◆ 令和8年度の青木小学校の複式学級回避のための教員加配を県に要望

##### 【令和8年1月まで】

- ◆ 統合に向けた取組項目の準備・調整等及び委員を推薦
- ◆ 教育委員会議で統合基本計画を決定

##### 【令和8年3月】

- ◆ 市議会で小学校設置条例改正の議決（統合の正式決定）

##### 【令和8年4月から令和9年3月まで】

- ◆ 統合準備協議会を設置（統合に向けた取組項目の協議調整）
- ◆ 児童や保護者の皆様の不安を解消するための取組を段階的かつ計画的に実施

##### 【令和9年4月】

- ◆ 統合校スタート

### (2) 統合に向けた取組項目

統合に向けては、主に次の項目について取組を進めます。具体的な内容は、統合準備協議会において協議調整を行います。

取組項目	主な内容
児童の安全・安心のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ スクールバスの運行</li> <li>◆ 交流授業や合同での学校行事の実施</li> <li>◆ スクールカウンセラーの配置拡充</li> <li>◆ 教職員配置の工夫</li> <li>◆ 城島小学校の改修 など</li> </ul>
その他の協議検討項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 学童保育所の対応</li> <li>◆ 地域活性化（跡地の利活用）など</li> </ul>

急速な人口減少・少子化が進行する中、久留米市の子どもの状況等を踏まえると、これまでの小中連携教育を一步進めた「小中一貫教育」に取り組む必要があります。

現在、久留米市における小中一貫教育の基本的な方針案について「久留米市小中一貫教育に関する方針案検討委員会」を設置し、検討を進めているところです。

小中一貫教育の実施にあたりましては、義務教育終了時(15歳)の子どもの姿をどのように位置付けるのか、小中学校を見通した教育課程をどのように編成するのか、必要となる教職員の確保と人材育成並びに施設整備など、多岐にわたる事項について、学校の状況に応じた綿密な協議調整が不可欠です。

そのため、久留米市における小中一貫教育のあり方につきましては、小中一貫教育の基本的な方針案や屏水エリアにおける義務教育学校の検証等を踏まえる必要があります。

今後、保護者や地域の方々のご意見等もお聞きしながら、上記のような状況を総合的に踏まえ、検討していきたいと考えております。

# 資料編

統合の対象校である江上小学校・青木小学校・城島小学校における昭和50年度から令和7年度までの児童数・学級数の推移は次のとおりです。

### (1) 児童数・学級数の推移

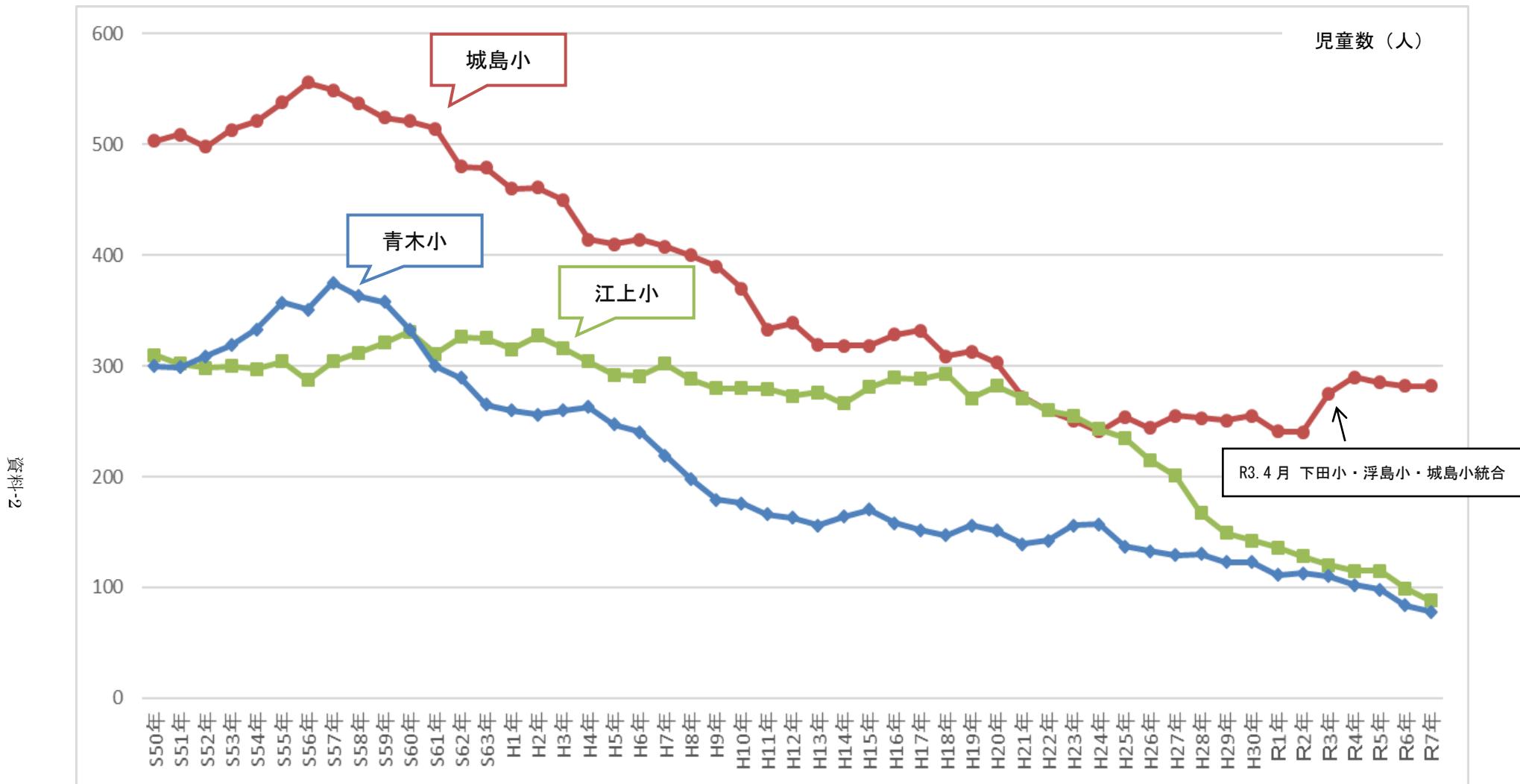
年度	江上小		青木小		城島小	
	児童	学級	児童	学級	児童	学級
S50	310	12	300	12	503	15
S51	302	12	299	12	509	16
S52	298	12	309	12	498	15
S53	300	12	319	12	513	16
S54	297	12	333	12	521	16
S55	304	12	357	12	538	16
S56	287	11	351	12	556	17
S57	304	11	375	12	549	17
S58	312	11	363	12	537	16
S59	312	11	358	12	537	16
S60	331	11	333	11	521	15
S61	311	11	300	11	514	15
S62	326	12	289	10	480	13
S63	325	12	265	9	479	14
H1	315	12	260	9	460	14
H2	327	12	256	9	461	14
H3	316	12	260	11	450	13
H4	304	12	263	10	414	12
H5	292	12	247	9	410	12
H6	291	12	240	9	414	12
H7	302	12	219	8	408	12
H8	288	12	198	7	400	12
H9	280	11	179	6	390	12
H10	280	11	176	6	370	12
H11	279	11	166	6	333	11
H12	273	11	163	6	339	11

年度	江上小		青木小		城島小	
	児童	学級	児童	学級	児童	学級
H13	276	11	156	6	319	11
H14	266	10	164	6	318	11
H15	281	11	170	6	318	12
H16	289	11	158	6	328	13
H17	288	11	152	6	332	13
H18	293	11	147	6	309	13
H19	271	10	156	6	313	13
H20	282	11	151	6	303	12
H21	271	11	139	7	272	12
H22	260	12	142	7	260	12
H23	255	12	156	7	251	12
H24	243	11	157	8	241	12
H25	235	11	137	8	254	12
H26	215	9	133	8	244	10
H27	201	8	129	7	255	11
H28	167	7	130	7	253	11
H29	149	7	123	7	251	11
H30	142	7	123	7	255	12
R1	136	8	111	8	241	12
R2	128	8	113	8	240	12
R3	120	8	110	8	275	15
R4	115	8	102	8	290	15
R5	115	8	98	8	285	15
R6	99	8	84	8	282	15
R7	88	8	78	8	282	15

(注) 児童数は、各学校に在籍する全児童数（各年度5月1日時点）、学級数は各学校の全学級数です。

## (2) 全児童数の推移グラフ

江上小学校・青木小学校・城島小学校とともに、児童数は減少傾向にあります。



## (1) 令和7年度の状況

## 江上小学校

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
児童数	10	8	12	14	13	22	9	88
学級当たりの児童数	10.0	8.0	12.0	14.0	13.0	22.0	-	-

## 青木小学校

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
児童数	8	7	8	12	15	16	12	78
学級当たりの児童数	8.0	7.0	8.0	12.0	15.0	16.0	-	-

## 城島小学校

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計
学級数	2	2	2	2	2	2	3	15
児童数	36	41	47	53	50	37	18	282
学級当たりの児童数	18.0	20.5	23.5	26.5	25.0	18.5	-	-

(注1) 令和7年5月1日時点の児童数・学級数です。

(注2) 特別支援学級の編制は、障害種ごとに1学級当たり児童8人が上限です。

## (2) 児童数・学級数の推計（通常学級）

住民基本台帳（令和7年5月）をもとに、過去5年間の児童数の増減率を反映して算定した児童数・学級数の推計は次のとおりです。

### 江上小学校

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
R7	1	1	1	1	1	1	6
	10	8	12	14	13	22	79
R8	1	1	1	1	1	1	6
	12	9	8	12	14	13	68
R9	1	1	1	1	1	1	6
	15	11	9	8	12	14	69
R10	1	1	1	1	1	1	6
	12	14	11	9	8	12	66
R11	1	1	1	1	1	1	6
	13	11	14	11	9	8	66
R12	1	1	1	1	1	1	6
	6	12	11	14	11	9	63
R13	1	1	1	1	1	1	6
	13	6	12	11	14	11	67

※表中の網かけの学年は、児童1～2名の減で複式学級編制となります。

### 青木小学校

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
R7	1	1	1	1	1	1	6
	8	7	8	12	15	16	66
R8	1	複式学級		1	1	1	5
	11	8	7	7	12	16	61
R9	1	1	複式学級		1	1	5
	7	11	8	6	7	12	51
R10	1	1	1	複式学級		1	5
	9	7	11	7	6	7	47
R11	1	複式学級		1	複式学級		4
	9	9	7	10	7	6	48
R12	1	1	複式学級		1	1	5
	7	9	9	6	10	7	48
R13	1	複式学級		複式学級		1	4
	9	7	9	8	6	10	49

※令和7年度は、基準上2・3年生で複式学級編制となります。が、福岡県教育委員会から特例として教員が加配され、複式学級が回避されました。

## 城島小学校

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
R7	2	2	2	2	2	2	12
	36	41	47	53	50	37	264
R8	2	2	2	2	2	2	12
	39	36	41	45	56	46	263
R9	2	2	2	2	2	2	12
	36	38	36	39	48	52	249
R10	1	2	2	1	2	2	10
	30	36	38	35	41	44	224
R11	1	1	2	2	2	2	10
	26	30	36	37	37	38	204
R12	1	1	1	1	2	1	7
	25	26	30	35	39	34	189
R13	1	1	1	1	2	2	8
	17	25	26	29	37	36	170

(注 1) 表中は通常学級で各年度の上段は学級数、下段は児童数です。

(注 2) 過去 5 年間に 1 学年が上がるごとの児童数の増減値の平均を増減率として算出しています。

(注 3) 隣り合う 2 つの学年の児童数の合計が第 1 学年を含む場合は 8 人以下、それ以外の学年では 16 人以下で複式学級が編制されます。

### ◆ 令和 9 年度に統合する場合の全児童数・学級数の推計

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計
R9	2	2	2	2	2	3	6	19
	58	60	53	53	67	78	39	408
R10	2	2	2	2	2	2	6	18
	51	57	60	51	55	63	39	376
R11	2	2	2	2	2	2	6	18
	48	50	57	58	53	52	39	357
R12	2	2	2	2	2	2	6	18
	38	47	50	55	60	50	39	339
R13	2	2	2	2	2	2	6	18
	39	38	47	48	57	57	39	325

(注) 特別支援学級は、令和 7 年 5 月 1 日時点の児童数・学級数としています。

### (3) 校区図

江上小学校・青木小学校・城島小学校の各学校間の距離は、次のとおりです。なお、直線距離ではなく、実際の道路上で計測した距離を表示しています。

